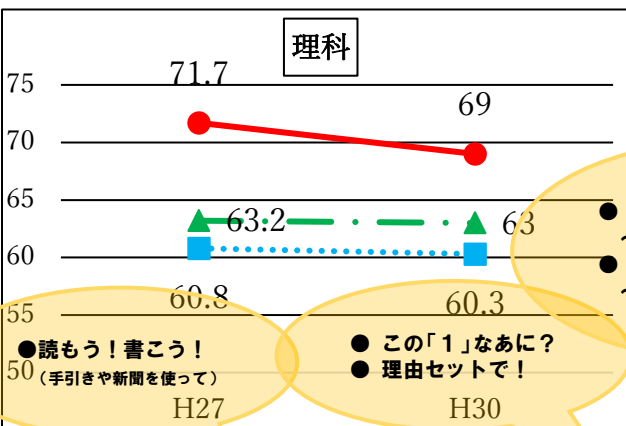
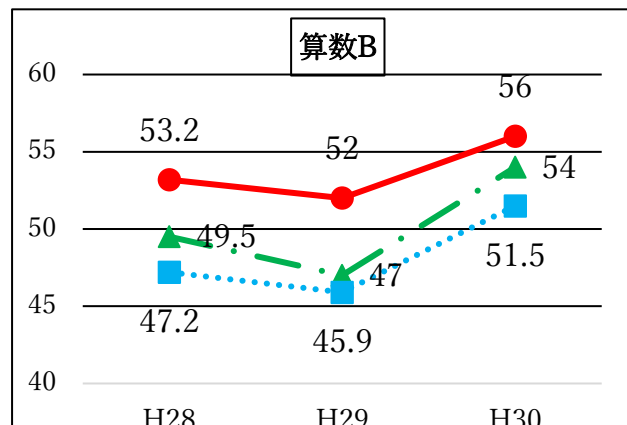
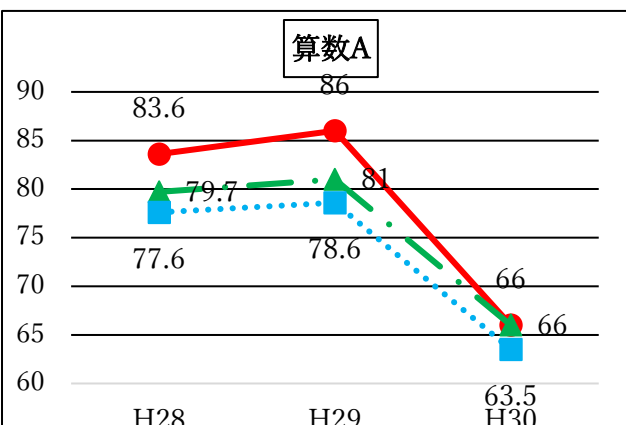
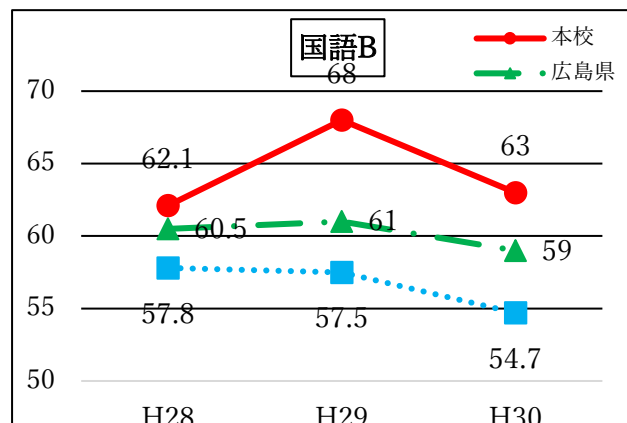
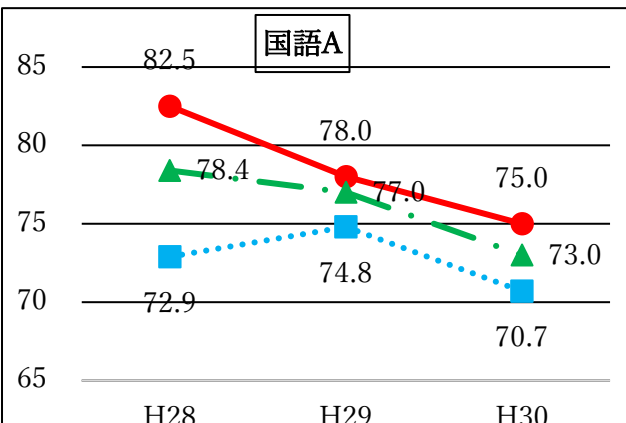


# 第6学年「全国学力・学習状況調査」(平成30年4月17日実施)の結果について

## (学習面)

|      | 国語A  | 国語B  | 算数A  | 算数B  | 理科   |
|------|------|------|------|------|------|
| 海田南小 | 75   | 63   | 66   | 56   | 69   |
| 広島県  | 73   | 59   | 66   | 54   | 63   |
| 全国   | 70.7 | 54.7 | 63.5 | 51.5 | 60.3 |



理科の調査は、3年に1回程度の実施のため、前回調査の平成27年度と比較しています。

黄色の吹き出しは南小の取組のキャッチフレーズです。

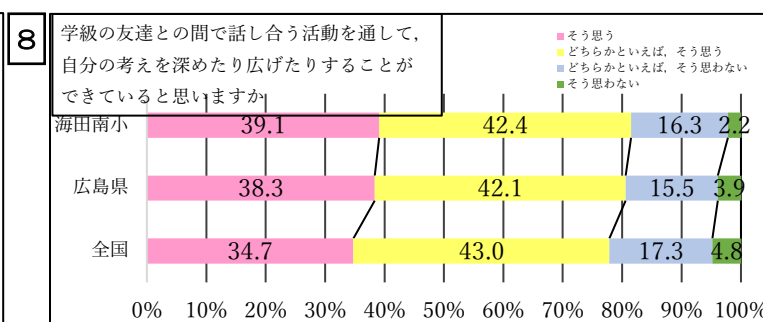
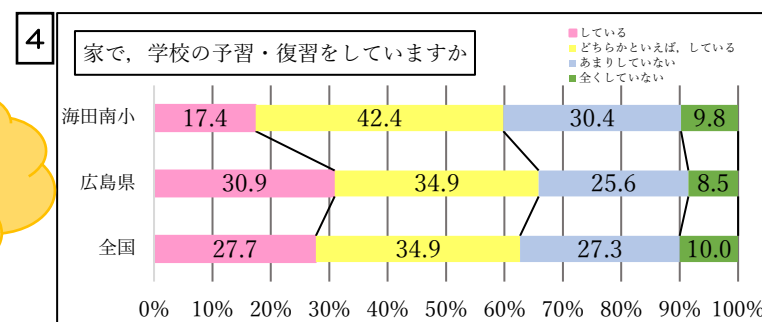
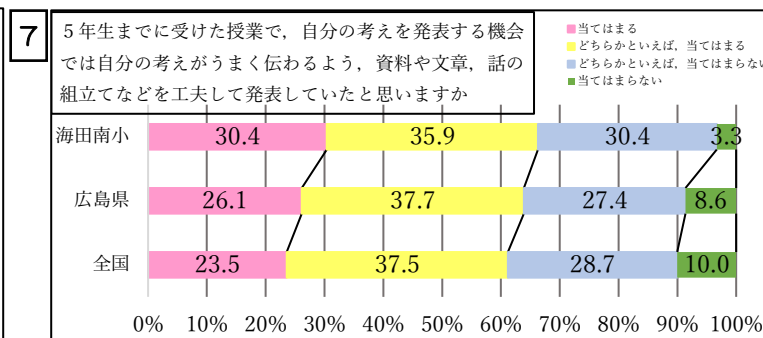
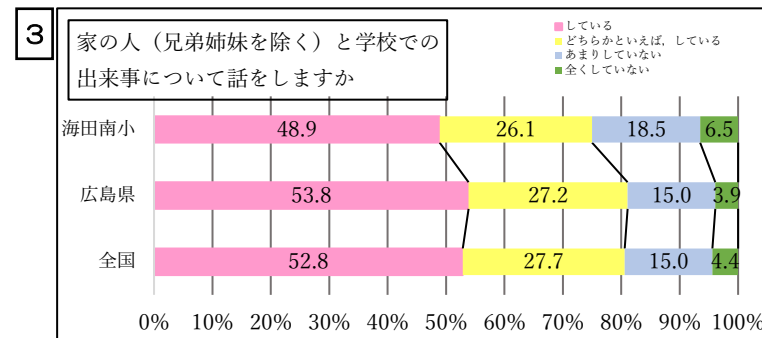
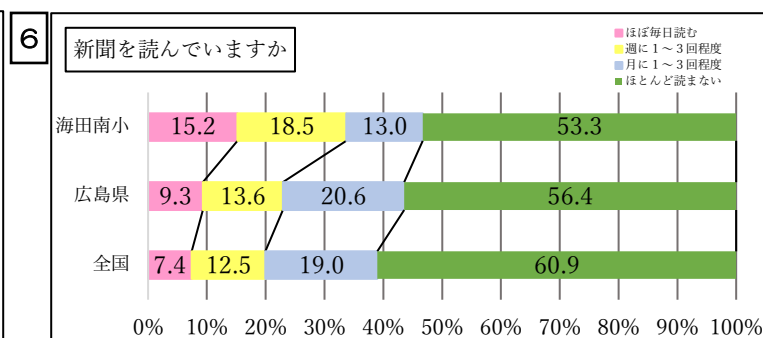
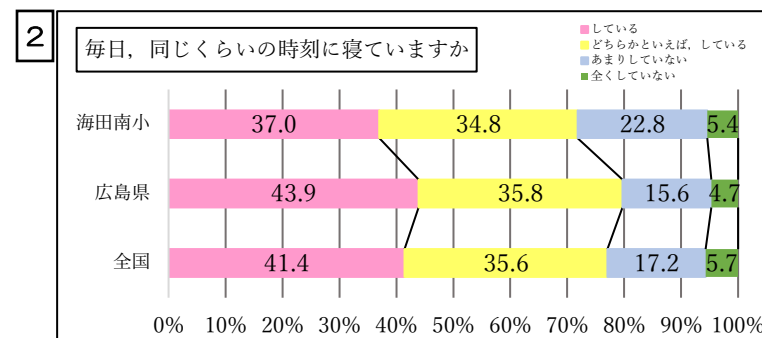
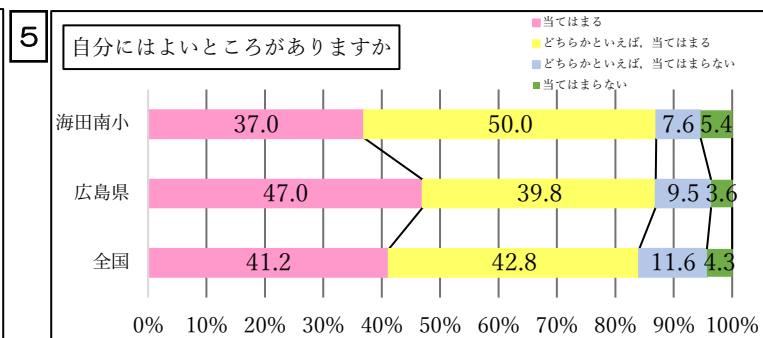
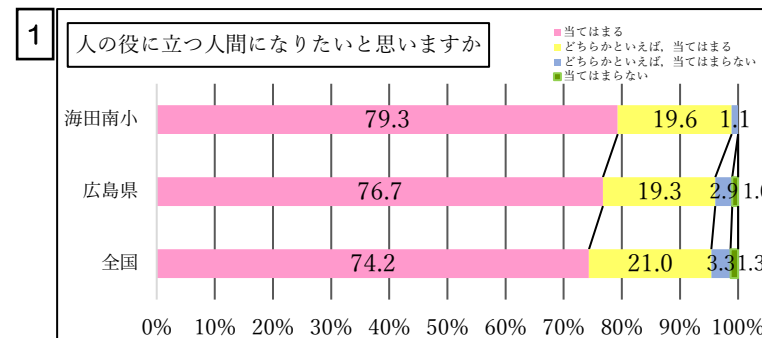
- 理科を学んでよかった！～生活につなげて～
- 考察を自分で書こう！～キーワードを使って～

- この「1」なあに？
- 理由セットで！

- 読もう！書こう！(手引きや新聞を使って)

|    | 国語  | 算数   | 理科  |
|----|---|--|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと</li> <li>・相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形について、辺や角に着目して図形を判断したり、角の大きさを式で表したりすること</li> <li>・授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えること</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果を予想しながら実験を構想すること</li> <li>・筋肉や関節などの科学的用語や概念の理解</li> <li>・乾電池の繋ぎ方や電流の流れ方についての理解</li> </ul> |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語の関係に注意して文を正しく書くこと</li> <li>・虫歯を防ぐ効果について50～80字の条件で書くこと</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数とシートの面積から混み具合を求めること</li> <li>・2種類のグラフを読んで、その意味を関連させ、分かることを書くこと</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる変化の関係を、ものづくりに適用すること</li> <li>・流れる水の働きについて理由付けて説明すること</li> </ul>          |

## (意識調査)



この結果をふまえて、ご家庭において取り組むことができそうなことについて、お子さんと話し合ってみてください。

7・8については、平成28年度から始めた「主体的な学び」の授業改善の取組の成果が、少しずつ表れてきています。

## 成果と課題

〈学習面〉  
 ○全教科において、全国平均、県平均を上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着しているといえる。また、「自分の考えを相手に伝えるように工夫して発表している」と答えた児童の割合が、全国平均、県平均と比べて大きく上回っている。「学級の友達と話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりしている」と答えた児童の割合も、全国平均、県平均より上回っている。  
 ●宿題のように、決められた課題については取り組むことができても、自分から積極的に予習・復習をしたり、課題を見付けて解決しようとする児童の割合が少ない。

〈生活面〉  
 ○「人の役に立つ人間になりたい」と思っている児童の割合が、全国平均、県平均に比べて高い。また、「新聞を読んでいる」と答えた児童の割合は、全国平均、県平均より高いが、新聞をほとんど読まないと答えている児童が53.3%いる。  
 ●「毎日同じ時刻に寝ている」と答えた児童の割合が、全国平均、県平均に比べて低い。また、「家の人と学校での出来事について話をしている」と答えた児童の割合が低い。「自分にはよいところがある」について、「当てはまる」と答えた児童の割合が、全国平均、県平均と比べて低い。